

片倉城跡

片倉城は、自然の地形を利用して造られた中世城郭の特徴を残しています。

たとえば北、東、南の外周部に約30メートルの急崖があるため、天然の要害となっていました。また、西からの丘陵頂部は平坦ですが、深い空堀（水を溜めないう、地面を掘り下げた堀）によって画された主郭（本丸広場）と第2曲輪（二の丸広場）の2つの曲輪が形成されていました。空堀は鉤の手に掘り込んであり、曳橋か跳橋によって連絡されていたと考えられます。第2曲輪は主郭の2倍の広さを持ち、ほぼ完全に空堀が巡らされていて、空堀は北に向かつて深く落ち込んでいます。現在も2つの曲輪には土塁（土を高く盛って敵の侵入を防ぐ砦）や櫓台、腰曲輪（住吉神社のあるところ）、土橋などが残っています。



③ 本橋



① 本丸広場



② 空堀



④ 桜の季節の二の丸広場（野中慎介氏撮影）

住吉神社

片倉城本丸の北東、鬼門の位置に住吉神社があります。これは片倉城主が城の鬼門除けとして摂津国（現大阪市）の住吉大社を勧請したもので、御祭神は上筒男命、中筒男命、底筒男命です。8月第4日曜日が例祭日であり、現在は片倉地区の鎮守として崇敬されています。この辺りに片倉城の腰曲輪がありました。社殿の裏手には太平洋戦争末期に造られた防空壕跡が残っています。



⑤ 住吉神社



⑥ 裏手の防空壕跡

彫刻

1980年代、市で「彫刻のまちづくり」が謳われ始めたころ、彫刻家、北村西望が片倉城跡公園を非常に気に入る、日本彫刻会主催の日彫展に設けられた西望賞の野外展示場所として自ら選定しました。

1982年の除幕式では、「彫刻は3000年も保ち、年代に負けない。3000年も大事にしてくれることはありがたい」と喜びを語っています。その後も彫刻広場を中心に19基の彫刻が設置されました。



⑦彫刻広場の北村西望作品「浦島——長寿の舞」

自然環境

自然豊かな園内では、そこかしこで四季折々の花々や野鳥を見かけることができます。

まず16号線から入ってすぐの沼地では、初夏にスイレンの花が咲き、カワセミやカルガ

モなどを目にすることができます。西側にある菖蒲田では、5月下旬〜6月上旬に、さまざまな色のハナショウブが咲いて目を楽しませてくれます。傍にある水車小屋は2003年、老朽化していた水車を市職員が設計・工事して復元したもの。この地が古くから豊富な湧水に恵まれていることを表しています。北側斜面から奥の沢にかけては、春になると一面に薄紫色のカタクリ、黄色のヤマブキソウなどの花が咲きます。公園の傍を流れる湯殿川は、館町を水源とし、多摩丘陵と子安丘陵の間を流れ、長沼町で浅川に合流する河川です。川沿いは野鳥観察の格好のスポットとして知られています。



⑧カタクリ（杉本一好氏撮影）



⑨奥の沢のヤマブキソウ（粕谷和夫氏撮影）



⑩水車小屋



⑫湯殿川



⑪菖蒲田のハナショウブ



片倉城跡公園周辺の

気になるあのお店



片倉城跡公園は園内だけでなく、周辺にもちょっと気になるスポットがあります。その中からここでは3つのお店をご紹介します。散策をかねて、ぶらり立ち寄ってみませんか。

竜泉寺の湯



片倉城跡公園に隣接する片倉つどいの森公園のすぐ近くに、関東最大級の温浴施設「竜泉寺の湯 八王子みなみ野店」があります。ここは全国のスーパージョウの中でも1、2を争う集客力があり、連日多くのお客さんが癒しに訪れる人気スポットです。

2015年にオープンした広大な施設には16種類のお風呂とサウナ、さらに7種類の岩盤浴があります。中でも竜泉寺の湯の名物といえば、高濃度の炭酸ガスを溶け込ませた「高濃度炭酸泉」。通常のお湯に比べ、血流が倍になる

冷え性、腰痛などに効能があるといわれています。また、みなみ野店では、地下1500メートルからの採掘に成功した温泉が4種類のお風呂で使用されています。

お風呂の種類は、お湯の中でLEDが点滅する「ほたるの湯」、寝ながらお湯につかれる「寝ころび炭酸泉」、人間の体温に近い低温の「不感の湯」など多種多様。さらに2種類のサウナも用意して、いま流行の「整う」ための空間もバッチリ完備。

2019年には岩盤浴のラウンジに、大人の癒し空間「Forest villa」を新設。さまざまな書籍やコミック1500冊以上を常時配架し、くつろぎのひとときを提供しています。他にも食事処やマッサージ、エステ、美容院、ホットヨガなどもあり、館内で1日中楽しむことができます。

オープン7年目を迎えた

●竜泉寺の湯 八王子みなみ野店

片倉町3505

☎63212611

◆営業時間 朝6時～深夜3時（最終受付は深夜2時30分）、年中無休（設備点検のため臨時休業あり）

◆入浴料金 大人750円、小学生300円、幼児100円（3歳以下無料）

◆岩盤浴料金 平日650円、休日750円（時間無制限、中学生以上利用可、岩盤浴のみの利用不可）

◆駐車場完備

※八王子みなみ野駅・八王子駅・橋本駅・北野駅からシャトルバス送迎あり

今も、随時大きなリノベーションを図り、常に快適な空間をつくり出している「竜泉寺の湯 八王子みなみ野店」。老若男女誰もが1日のんびりできる癒しの空間を広げ、片倉地域に市内外から多くの人びとを呼び込んでいます。



片倉城跡公園から国道16号沿いを少し歩くと、ひととき目立つ赤レンガの建物があります。1918（大正7）年に建てられた米蔵を1991年に改装した喫茶店「コーヒーブリックス」です。

「うちは前日から厳選した生豆を念入りに焙煎しているんだよ」とコーヒーへのこだわりを語るのは、オーナーの塚本勇喜さん。味わい深いコーヒーとともに、創業当時から続く、生クリームをたっぷり使用したシフォンケーキが味わえるセットはお店の看板メニューです。

塚本さんは小さなころからエンジンに魅せられ、店内には趣味で集めたというエンジン模型のコレクションがびっしりと並んでいます。赤レンガの外壁とともに、エンジン模型が並ぶ内装もお店の特徴です。

昨年NHKの番組に取り上げられて以来、連日多くのお客様が訪れるようになりました。現在は週3日のみ営業ですが、次から次へとやってくるお客さんたちに真剣に



向き合っている
と、3日目には
ヘトヘトになっ
てしまうそうで
す。

「30年もやって
いると、店が子ども
みたいな感じになるん
だよ」と語る塚本さん。こ
こを「修行の場」と表現し
ながら、より美味しいコー
ヒーを求めて焙煎を続けて
います。



コーヒー ブリックス

● コーヒーブリックス

片倉町2434

☎・FAX 637-0296

◆ 営業時間

金曜・土曜 11時〜17時30分

日曜・祝日 13時〜17時30分

（ラストオーダーは30分前）

もぐもぐランド



片倉町交差点から北野街道を東へ進み、横浜線の立体交差をくぐる少し手前に、この夏「もぐもぐランド」がオープンしました。開設したのは、代々続く野菜農家に嫁いだ小山律子さん。それまで農業とも八王子とも無縁だった小山さんですが、農作業のみならず、次第に加工や販売にまで力を注ぐようになりました。ところが自宅の一角に設けていた加工所が手狭になり、次第に行き詰まりを感じるようになります。ちょうどそのころ、生産緑地でも建物を建てられるようになったことから、小山家の農地に「もぐもぐランド」を開設するに至りました。1階は販売所や食品加工場、2階には共用スペースを設置していて、中でも特

徴的なのは、自由に野菜を洗ったり、一時的に野菜を保存したりできる調整場。これは新規就農した方々を応援するために設けたスペースで、販売所でも新規就農された方々の野菜や加工品を積極的に販売しています。

「まだオープンしたてで、店舗の運営で精一杯ですが、ここを拠点に八王子の農業を活性化していきたいですね」と今後の抱負を力強く語る小山さん。アイデアを思いついたらすぐに具体化するバイタリテイをもつて、八王子の農業に活力を与えています。



● もぐもぐランド

打越町2129-6

☎ 636-8238

◆ 営業時間 10時30分〜18時30分

（月曜・火曜休）



の市民団体紹介

応援します
市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。
活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

◆問い合わせ先

<https://www.npojapancopyrightassociation.com/>
E-mail : spf87q99@movie.ocn.ne.jp

NPO法人 著作権協会

あなたの表現を守りたい

「著作権」というと、小難しい法律が必要で、自分とは関係ないと思う方が多いかもしれませんが、実は生活のあらゆる分野にかかわっているんです。こう語るのは、1996年に設立された著作権協会で25年以上代表を務めてこられた富樫康明さん。

イラストレーターとして活躍していた富樫さんは、多くの労力をかけて描いた自分の絵が安く売られてしまい、しかも勝手に他人に利用されてしまった体験から、著作権が、創作活動にかかわるすべての方に備わる大切な権利なのだという考えに至りました。

もともと「社団法人 発明学会」に参加していた富樫さんは、当時会長を務めていた豊澤豊雄さんに勧められ、独立して「著作権協会」を立ち上げました。著作権協会は、発足後に日本中に50の支部が誕生しましたが、現在は全支部が独立して各々の活動を展開しています。会の活動の柱は講演と出版活動で、富樫さん自身37冊の出版物、100冊の電子書籍を刊行するほか、毎日noteを更新す



▲著作権研究会のようす

るなど、「著作権」にまつわる情報発信を続けています。また、毎月第3土曜日にクリエイイトホールで「著作権研究会」を開催し、参加者とともに啓蒙活動に努めています。

現在は著作権をよく知ること、あらゆる創作活動での実践に生かせるのではないかと提案している富樫さん。「たとえば商品を作るにしても違いを出し、オリジナルなものを生み出すことが大事で、そのためには著作権を活用することが大切」と力説します。私たちの表現すべてを守る「著作権」をいかに活用していけば良いのか、人びとの悩みに向き合いながら、情報発信を続けています。

揺籃社

11月刊行予定!!

★ 忍者も登場!

『氏照と長安——家康が命じた
八王子の町作り——』(仮)

B6判・112P・カラー表紙付
税込1100円(予価)



主人公にした新小説!!

北条氏照

大久保長安を

八王子の町づくりに大きな足跡を
残した郷土の偉人

※ここは「はちとび」を応援してくださっている方々に自由に使っていただくフリースペースです。今回は「高尾山の花名さがし隊」です。

相模大山の信仰 ― 御神酒杵と小太刀



▲小太刀（兵衛の熊野神社）を持つ糠信富雄さん

八王子からの大山道は、鎌水峠や七国峠を越えるルートである。高尾山を起点とし、高尾山・大山・江ノ島弁財天を詣でる人々も多かった。明治生まれの父からは、相模川の小倉（相模原市）から船に乗ったと聞いている。また、八王子周辺では15歳になると、男性は成人儀礼として大山に登ったという。

雨乞いで名高い神奈川県伊勢原市の大山は、雨降山ともいわれ、755（天平勝宝7）年に、東大寺の良弁が開創したと伝わる。大山には阿夫利神社、不動明王を祀る大山寺があり、巨石を信仰して石尊大権現とも呼ばれる。江戸時代に、大山御師が諸国への檀家回りを行って、関東甲信越、静岡に及ぶ大山講の信仰圏が拡大された。埼玉、神奈川、都区内などに伝わる大山信仰の御神酒杵が、南町と八幡町にある。南町は1791（寛政3）年、八幡町一・二丁目には1852（嘉永5）年のもので、いずれも彫刻が施された市指定有形文化財である。八王子まつりでは神酒所に飾られる。

水にて身を清め、行衣を着け、肩から鈴のついた櫓をかけ、神輿のように担いで大山へ参った。高張提灯をかがけて盛大に送迎したという。大山には小太刀をめぐめる信仰もある。小太刀を奉納するのは納め太刀といい、この風習は、源頼朝の祈願から始まったという。奉納してある木太刀を持ち帰るのを、迎え太刀といい、自宅の屋根裏などに納め、家内安全・招福除災等の御利益があるとされた。犬目町の熊野神社には「石尊大権現大願成就ノ寛政七歳（1795）」と書かれた木太刀が残る。兵衛（旧宇津貫町）の熊野神社にも、「奉納石尊大権現御宝前」と書かれた1709（宝永6）年の木太刀がある。これらは大山からいただいてきた迎え太刀であろう。「大山へ行くと木刀を借りてきてお守りとし、屋根裏などにかけて置いた。木刀を川原にたてて視をしたらしい」と、若いころに、1894（明治27）年生まれの水川庄太郎さん（式分方町）から教えていただいた。

片倉城跡公園周辺

八王子自然探訪 ④

八王子・日野カワセミ会 会長 粕谷 和夫

片倉城跡公園では春から秋まで100種近くの野草、樹木の花々が咲いている。中でも奥の沢の斜面に咲くカタクリ（3月）、ヤマブキソウ（4月）、キツネノカミソリ（7、8月）、シュロソウ（8月）は見ごたえがある。管理棟付近には池、沼、湿地が点在し、スイレンやコウホネの花が咲き、春にはヒキガエル、シュレーゲルアオガエルの声、夏はシオカラトンボ、オニヤンマの飛翔、年間を通してカワセミ、カルガモがやってくる。奥の水車がある辺りでは6月にハナシヨウブが咲

き、ゲンジボタルが舞う。湯殿川に出ると、野鳥が出迎えてくれる。川幅が狭いため、野鳥と人の距離が近く、身近に観察できる。カワセミは公園の池との間を行き来している。アオサギ、ダイサギ、カワウ、カルガモなどの大型の水鳥、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイなど、小型の水辺の鳥もいる。川の中のツルヨシやヤナギなどにシジュウカラ、メジロ、エナガなどの小鳥もやって来る。片倉つどの森公園の北側にはススキが生え、その株元に秋にはナンバンギセルという珍しい花が出ているかもしれない。つどの森公園とその東側の畑で、春はキジの姿を見る機会がある。片倉城跡公園に戻り、休憩広場のテーブルで待っていると、コゲラ、アオゲラ、運がよければさらにアカゲラなどのキツツキがやって来るであろう。花の少ない冬季は、雑木林やその周縁でシヨウビタキ、ルビビタキ、ツグミ、シロハラ、トラツグミなどの冬鳥が期待できる。

JR横浜線片倉駅北口から国道16号に出て信号を渡ると片倉城跡公園の入口、京王線片倉駅からであれば国道16号に出て約500メートル南方向に歩くと公園入口に着く。現在、片倉城跡は歴史や自然環境の保全を目的とした公園に整備されている。この公園の北側には湯殿川が流れ、西側には野菜畑を挟んで片倉つどの森公園がある。片倉城跡公園を出発し、北側の湯殿川に出たら川沿いを上流に向かい、カタクリ橋から竜泉寺の湯の前を通り、片倉つどの森公園、野菜畑を抜けて再び片倉城跡公園に戻ってくる自然散策コースを推奨する。このコースは池、湿地、川、雑木林、芝生広場、畑など、多様な自然環境に恵まれているため、季節ごとにありとあらゆる生きものに合うことができる。フルコースをゆっくり歩くと3時間くらいかかるが、時間を短縮して一部の散策だけでも充分楽しめる。



▲ヤマブキソウ

私の本はこうして生まれた

其の五十二

『ダカール大学客員教授 セネガル滞在日記』 鈴井宣行 著

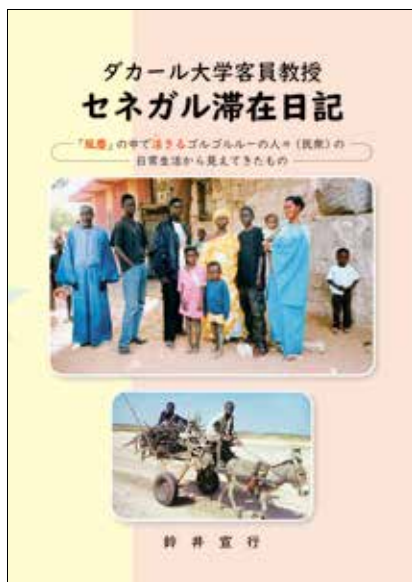
2006年10月から2007年3月までの約半年、アフリカのセネガルはダカールで客員教授として過ごした著者。本著は、バイクを駆使して市井の人々の生活をくまなく見て回った記録をまとめたもの。どんな論文よりも軽やかで、どんな紀行文よりも鮮やかに、セネガルの人々の暮らしが活写されています。かの地特有の習俗に目をみはったり、日本とセネガルとの意外な接点垣間見られたり。要所で注釈による解説があるので勉強にもなる、日記風エッセイの誕生です。

70歳の定年退職を機に、これまで関わってきた西アフリカの小国セネガルについて、まとめてみたいと思いました。日本ではほぼ知られていないセネガルの人々の日常生活の中の振る舞い、物事に対する態度、考え方や価値観などを通して彼らの「姿」を理解していただくため使った資料が、6か月間、

そこに登場する人々の生き様であり、且つ書き手の自己反省の場ともなるものです。私が初めてセネガルに足を踏み入れたのは在セネガル日本国大使館勤務が決定した1994（平成6）年。当時のセネガルはまだまだ発展という域には遠く及ばない開発途上の国でした。この国に居住する人々の真の日常の姿を日本の方々に理解していただくのは並大抵のことではありません。なぜなら、私の大使館勤務が決まった時、周囲の方々からは「アフリカですか！ 大変ですね」とか「よく決心されましたね」などと言われました。これらの言葉

の裏には、アフリカに対する「病気や貧困や紛争などの地域」という見方があり、これらの見方を改めてもらうためにも、我々と同じような「人間の日常生活の営み」があることを理解してもらう以外にはないと思いました。今でこそ、書籍は勿論、インターネットで検索すれば、アフリカに関する多くの情報を得ることができますが、当時はアフリカの政治や外交や経済などの専門書はいくつか出版されていたものの、人々の日常生活に関して日本で得られる情報は皆無と言っても過言ではありませんでした。それなら私自身が五感をフル活用し、真

のセネガル民衆の姿を伝えるしかないと考えました。本書『ダカール大学客員教授セネガル滞在日記』は、セネガルという小国に暮らす人々の「日常の営み・考え方・価値観」などを気軽に理解していただくことを目的としているため、コラムや注釈解説などを付けました。本書を通してセネガルを少しでも理解していただけたら法外の喜びです。（編者記）



ホームステイし、私の行動と日々見聞いたダカールの人々の日常生活を書き留めた「日記」でした。日記はその人が残した日々の足跡であり、

私の行動と日々見聞いたダカールの人々の日常生活を書き留めた「日記」でした。日記はその人が残した日々の足跡であり、

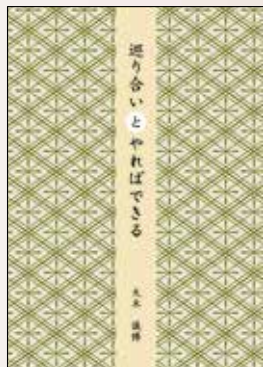
私の行動と日々見聞いたダカールの人々の日常生活を書き留めた「日記」でした。日記はその人が残した日々の足跡であり、

『ダカール大学客員教授 セネガル滞在日記』 揺籃社・発行 1091円＋税 A5判・348P＋グラビア2P ※本書をお求めの際は、お近くの書店か、当誌編集部までどうぞ。

BOOK REVIEW —八王子の自費出版本を紹介—

※このコーナーで紹介する自費出版本を募集しています。紹介してほしい本がありましたら、ご一報を。

人生を変えるような一言。誰にもあるかと思えます。著者の大木さんにとっては、小学校6年生の卒業式の日、担任の先生からかけられた「お前はやればできるのに何故やらない」でした。この言葉が人生の節目節目に大木さんを叱咤激励してきました。苦学して夜間大学から昼間の大学へ。卒業して就職、結婚して家を購入し、独り立ち。その後、50歳代になっても気力は衰えず、宅地建物取引主任者を受験、合格。さらに難関の社会保険労務士の資格も取得。本書は、人との出会いに感謝しながら、「やればできる」をモットーに邁進してきた著者の生き様そのものです。



巡り合いとやればできる

大木 儀博・著
★私家版・非売品
★B6判、54ページ
※本書は私家版です。詳細は当該編集部まで。
著者をご紹介します。

コロナ、延期、無観客など、さまざまな紆余曲折を経て開催された東京オリンピック。その閉会式で盆踊りを踊った著者の奮闘の記録です。50歳を過ぎて始めた踊りが偶然を呼び、東京五輪での晴れ舞台を呼び込みます。みんなに伝えたいけれど、口外はご法度。そのうえあらゆる登録が苦手なデジタルのため悪戦苦闘。かててコロナ、加えて猛暑。次々と襲い来る苦難を前にして、著者の筆致はどこまでも軽快です。良き人々との出会いも含め、全ては偶然でなく、著者が引き寄せた必然なのでしょう。つられてこちらにも踊りだしたくなる、元気なエッセイ集です。



オリンピックで東京音頭

——デジタルとコロナと夏を乗り越えて——
汐見はるこ・著
★私家版・頒価1000円
★四六判、128ページ、フルカラー
※本書は私家版です。詳細は当該編集部まで。
著者をご紹介します。

「八王子のおまわりさん」(仮)

次号予告

市内には八王子、高尾、南大沢の3つの警察署のほか、多くの派出所、駐在所があり、日夜おまわりさんたちが市民の安全に目を配っています。次号では、知っているようで意外と知らないおまわりさんの仕事や防犯活動に協力している団体などをご紹介します。情報募集中!

第53号(新風号)は
1月1日発行予定



広告募集中!

「はちとび52号」は9,000部を発行、右記の場所に配布いたします。八王子市民にアピールしたい商品やサービスの広告にピッタリ。是非、協賛ください。

提携店募集中!

お客さんとのコミュニケーションツールにしたり、待ち時間の合間に雑誌感覚で読んでもらったりと、利用方法はさまざま。「はちとび」を新サービスとしてご活用ください。

お問い合わせはこちら

揺籃社(清水工房内)
はちとび編集部

TEL (620) 2615
FAX (620) 2616
E-mail info@simizukobo.com

「はちとび」の置いてあるところ

公共施設

八王子観光コンベンション協会
八王子商工会議所
八王子市郷土資料館
八王子市中央図書館
八王子市川口図書館
八王子市南大沢図書館
八王子市生涯学習センター図書館
八王子市絹の道資料館
八王子市役所産業振興部
八王子市スポーツ振興課
道の駅「八王子滝山」
サイエンスドーム八王子
八王子クリエイトホール
八王子市学園都市センター
八王子市市民活動支援センター
八王子市子ども家庭支援センター
八王子市芸術文化会館いちょうホール
八王子市教育センター
八王子市南大沢事務所
八王子市南大沢文化会館
大学セミナーハウス
長池公園自然館
高尾山599ミュージアム
タヤけ小やけふれあいの里
市内各市民センター

お店・企業・学校

アート八王子
アクサ生命
御赤坂商店
御菓子司 旭苑
吾妻寿し
アメニティーライフ八王子
街荒物加島屋
小俣ダンススタジオ
café de la poste
café rin
ギャラリー・スペースことは
京嘴(株)
くまざわ書店
くまざわ書店京王八王子店
くまざわ書店西八王子店
㈱クラブS保険サービス
グループホームびおら
桑の実幼稚園
敬愛保育園
啓文堂高尾店
工学院大学
小谷野紙店
街崎玉屋本店
和食 坂福
等
坂本クリニック・坂本医院

JA八王子ふれあい市場
シミズパーク24
東京都立大学
スマイルこどもクリニック
せいがの森保育園
セブンイレブン八王子北口店
創価大学
高尾の森わくわくビレッジ
拓殖大学
そば・うどん 玉川亭
たましん散田店
多摩美術大学
中央大学
東京家政学院大学
東京工業高等専門学校
東京純心大学
東京造形大学
東京薬科大学
とみえ
中野屋商店
(株)日住
ハーモニーネット
はちねこ!カフェ
八王子エルシィ
八王子学園八王子高等学校
八王子中央自動車学校
八王子市役所売店「はっち」

八王子消化器病院
㈱富士屋
ふもとや
Coffee Bricks
ベネック
法政大学
まちの道 八王子CHITOSEYA
まつおか書房
松姫本店
街崎豆腐店
みやま大樹の苑
もくもくランド
山梨中央銀行八王子支店
㈱山六
有隣堂CELEO八王子店
電泉寺の湯
等

その他団体など

サイバーシルクロード八王子
八王子法人会
八王子市医師会
八王子市職員等事業本部
八王子自治研究センター
八王子センター元氣
八王子いちょう祭り祭典委員会
墨のアトリエ墨童舎
はちとびサポーターの会
等

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更される場合があります。
参加を予定されている方は事前にお問い合わせ先へご確認ください。

はちとぴ <9月~12月> イベント カレンダー

9月							10月							11月							12月									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
					1	2	3						1			1	2	3	4	5					1	2	3			
4	5	6	7	8	9	10	★	2	3	4	5	6	7	8	★	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	★	9	10	11	12	13	14	15	★	13	14	15	16	17	18	19	★	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	★	16	17	18	19	20	21	22	★	20	21	22	23	24	25	26	★	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30		★	24	25	26	27	28	29	★	★	27	28	29	30				★	25	26	27	28	29	30	31

情報募集中

10/2 (日) 第44回 音楽芸術フェスティバル

市民参加の音楽祭。吹奏楽、マリンバやフルートの演奏、ソプラノ独唱など、審査を受けた多彩な演者が自慢の曲目を奏でます。今年のゲスト奏者は露木薫（ユーフォニアム）。

会場：J:COMホール八王子

開場：13:00 開演：14:00

入場無料

問 音楽芸術フェスティバル推進委員会

☎ 090 (9334) 1950 (甘麻)

10/7~11/11 (金)~(火) 八王子古本まつり

今回は「戦争と平和」をメインテーマにしながら、関連書籍の販売、音楽ライブ、チャリティ販売会などを開催。福祉系のゆるゆるテント、企業系のまちみせ横丁も充実の内容です。

会場：八王子駅北口ユーロード

時間：10:00～19:00

問 八王子古本まつり実行委員会

☎ (684) 9119 (古書げんせん館)

10/9 (日) 浅川で秋の野鳥観察会

浅川沿いの堤防を歩き、カワセミ、ノビタキ、サギ、セキレイの仲間などを観察します。雨天中止（中止時は前日午後7時までにTwitter及びHPで告知）。持っている人は双眼鏡を持参願います。

場所：浅川の長沼橋～大和田橋

時間：8:30～11:00頃（京王線長沼駅改札口前集合）

料金：200円（中学生以下は無料）

問 八王子・日野カワセミ会

☎ 090 (4956) 3203 (佐藤)

11/10~13 (木)~(日) 第28回 市民美術工芸展

市内在住・在勤・在学の18歳以上の方が、絵画、書、写真、彫刻など、思い思いの美術作品を披露。今年は体験コーナーも実施します。「文化の街 八王子」を表す作品がずらり並びます。

会場：いちょうホール 展示室1階・2階

時間：10:00～18:00（初日13時から、最終日16時まで）

入場無料

問 市民美術工芸展推進委員会

☎ (652) 2910 (中)

11/16~21 (水)~(月) 第22回 墨のアトリエ 墨童舎 書作展

楽しみながら書の道を研鑽する「墨のアトリエ 墨童舎」による2年に1度の書作展。童のように純粋で自由な目と心で墨と戯れ、墨から学んでいる皆さんの作品を、ぜひご覧ください。

会場：学園都市センターギャラリーホール

時間：10:00～18:00（初日13時から、最終日16時まで）

入場無料

問 墨のアトリエ 墨童舎

☎ (623) 3028 (吉沢)

11/19~20 (土)~(日) 第43回 八王子いちょう祭り

今年のテーマは「Say YES! Walk Together! ～みんなでいっしょに歩こう!～」。

甲州街道のいちょう並木を主役に、関所オリエンテーリングをはじめとした、さまざまなイベントを開催します。

会場：甲州街道追分町交差点～小仏関跡など

時間：9:00～16:30（20日は16時まで）

問 八王子いちょう祭り祭典委員会

☎ (668) 8383 (事務局)

11/24~27 (木)~(日) 第12回 八王子中学生絵画展

八王子市内の公立・私立中学校で選抜された生徒の作品（主に絵画）を展示します。作品テーマは「中学生の主張」。次世代を担う中学生の多様な作品をぜひご鑑賞ください。

会場：学園都市センターギャラリーホール

時間：10:00～18:00（最終日は17時まで）

入場無料

問 八王子中学生絵画展推進委員会

☎ (663) 9957 (武居)

11/26 (土) アンサンブルJ合唱団 第12回 定期演奏会

第1部は混声合唱団「ふるさと春夏秋冬」、第2部はソプラノソリスト藤谷佳奈枝さんをお迎えしてヴェルディ作曲の合唱曲「行けわが想いよ、黄金の翼に乗って」など。久しぶりの公演をお楽しみください。

会場：J:COMホール八王子

開場：13:00 開演：14:00

料金：1000円（全席自由）

問 アンサンブルJ合唱団

☎ (621) 0512 (杉山)